



お米、食べてる？

## 企画展「米-田んぼからお家まで-」を開催中！

私たちの生活にとっても身近なお米ですが、現代では食の多様化などにより、その消費量は減少しています。杉並区立郷土博物館で開催中の本展では、お米がどのようにして育てられ、どのようにして私たちのところへ届くのか、お米の生産過程やその歴史、未来をたどっていきます。

4月9日から郷土博物館で始まった企画展「米-田んぼからお家まで-」では、私たちの食卓に上っているお米の生産過程を、「田植え」、「収穫」、「脱穀」、「精米」という場面ごとに詳しく解説しています。

また、農耕具や足踏み式脱穀機から未来の完全自動の無人トラクターに至る農業機械の変遷をたどり、それとともに変化していく米作りの変化を、紹介しています。そのほか、米の流通拠点である区内のお米屋さんの特徴ある販売方法などに関する資料を展示しました。

開催期間中は昔の農具体験や、農福連携農園「すぎのこ農園」での耕作体験などの関連イベントも開催します。



▲米俵などを担げる写真スポットも設置



▲穀粒に交じっている異物を除去する昔の農具「唐箕」

### 企画展「米-田んぼからお家まで-」

【日時】4月9日（土）～5月15日（日）午前9時～午後5時

（会期中休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、4月21日（木））

【会場】杉並区立郷土博物館（大宮1-20-8）

【観覧料】100円（中学生以下、障害者手帳を提示する方およびその付き添いの方は無料）

#### 【問い合わせ先】

杉並区立郷土博物館：03-3317-0841